Ami-SC＋ラゼルチニブ（C1）（q4w）

1コース期間：28日

対象疾患：非小細胞肺がん

ルート	Rp	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度	投与時間	d1	d8	d15	d22
内服	1	デキサメタゾン 10mg ジフェンヒドラミン50mg アセトアミノフェン1000mg内服		内服	Ami-SC投与30～1時間前に内服		○			
内服	1´	ジフェンヒドラミン30mg アセトアミノフェン600mg内服 ★がんセンターで服用		内服	Ami-SC投与30～1時間前に内服			○	○	○
sc	2	リブロファズ®皮下注 （アミバンタマブとして）	体重80kg未満：1600mg 体重80kg以上：2,240mg	sc		腹部皮下に 5minで投与	○	○	○	○
内服	3	ラゼルチニブ	240mg/日	p.o.	1日1回		day1～28			

コメント

・リブロファズ®配合皮下注とラゼルチニブを併用投与する際は、静脈血栓塞栓症の発症を抑制するため、当該併用投与開始後4カ月間はアピキサバン1回2.5mgを1日2回経口投与する。
・Ami-SC　1サイクル投与前もしくは投与後1週間以内にDダイマーの測定を実施する。また下肢静脈血栓症の検索として下肢エコー（下肢造影CTも可）の実施を検討すること。
・ラゼルチニブは、240mg1日1回経口投与

【リブロファズ®配合皮下注（Ami-SC）】

・Ami-SCの前投薬として、臨床上必要な場合は上記以外で下記薬剤を検討する。
　サイクル1day8以降→デキサメタゾン10mg（経口、iv時は8.25mg）またはメチルプレドニゾロン40mg（ivもしくは経口）
　任意のタイミング→ファモチジン20mgまたは同等薬（iv、H2遮断薬）、ラモセトロンOD 0.1mg（経口）、グラニセトロン3mg（iv）（制吐剤）
・Ami-SCの後投薬として、臨床的に必要な場合はIR予防薬（DEX、抗ヒスタミン薬、解熱剤、H2ブロッカーなど）を処方し、最長48時間継続してもよい。
・間質性肺疾患があらわれることがあるので、初期症状（呼吸困難、咳嗽、発熱等）の確認及び定期的な胸部画像検査の実施等、観察を十分に行うこと。
　必要に応じて、動脈血酸素分圧（PaO2）、動脈血酸素飽和度（SpO2）、肺胞気動脈血酸素分圧較差（A-aDO2）、肺拡散能力（DLco）等の検査を行うこと。

・初回投与時：ヘパリン類似物質製剤処方
・ミノサイクリン錠　50mgまたは100mg　1回1錠　1日2回　朝夕食後（8週間まで）
（肝障害時：クラリスロマイシン 200mg　1回1錠　1日2回）
・投与前に血清Mg値を測定

Ami-SC＋ラゼルチニブC2以降（q4w）

1ｺｰｽ期間： 28日

対象疾患： 非小細胞肺がん

ルート	Rp	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度	投与時間	d1
内服	1	ジフェンヒドラミン30mg アセトアミノフェン600mg内服 ★がんセンターで服用		内服	Ami-SC投与30～1時間前に内服		○
sc	2	リブロファズ®皮下注 （アミバンタマブとして）	体重80kg未満：3,520mg 体重80kg以上：4,640mg	sc		腹部皮下に 5minで投与	○
内服	3	ラゼルチニブ	240mg／日	p.o.	1日1回		day1～28

コメント

・リブロファズ®配合皮下注とラゼルチニブを併用投与する際は、静脈血栓塞栓症の発症を抑制するため、当該併用投与開始後4カ月間はアピキサバン1回2.5mgを1日2回経口投与する。
・ラゼルチニブは、240mg1日1回経口投与

【リブロファズ®配合皮下注（Ami-SC）】

・Ami-SCの前投薬として、臨床上必要な場合は上記以外で下記薬剤を検討する。
サイクル1day8以降→デキサメタゾン10mg（経口、iv時は8.25mg）またはメチルプレドニゾロン40mg（ivもしくは経口）
任意のタイミング→ファモチジン20mgまたは同等薬（iv、H2遮断薬）、ラモセトロンOD 0.1mg（経口）、グラニセトロン3mg（iv）（制吐剤）
・Ami-SCの後投薬として、臨床的に必要な場合はIR予防薬（DEX、抗ヒスタミン薬、解熱剤、H2ブロッカーなど）を処方し、最長48時間継続してもよい。
・間質性肺疾患があらわれることがあるので、初期症状（呼吸困難、咳嗽、発熱等）の確認及び定期的な胸部画像検査の実施等、観察を十分に行うこと。
必要に応じて、動脈血酸素分圧（PaO2）、動脈血酸素飽和度（SpO2）、肺胞気動脈血酸素分圧較差（A-aDO2）、肺拡散能力（DLco）等の検査を行うこと。

・初回投与時：ヘパリン類似物質製剤処方
・ミノサイクリン錠　50mgまたは100mg　1回1錠　1日2回　朝夕食後（8週間まで）
（肝障害時：クラリスロマイシン 200mg　1回1錠　1日2回）
・投与前に血清Mg値を測定